

## 日本鉄鋼協会記事

### 編集委員会

**第4回編纂運営委員会** 開催日：9月11日。出席者：加藤委員長，ほか10名。

1. 昭和56年度ヘンダーソン賞の選考を行った。候補として推薦された論文13件を対象に検討がなされ，うち1件が選出された。

2. 各分科会より活動報告がなされた。

**第6回和文誌分科会** 開催日：9月4日。出席者：加藤主査，ほか26名。

1. 33件の論文審査報告がなされ，掲載決定29件，照会后掲載可4件であった。

2. 「鉄と鋼」第68年第1号（1月号）に論文11件，技術報告1件掲載決定した。

**第6回欧文誌分科会** 開催日：9月11日。出席者：中村主査，ほか12名。

1. 13件の論文につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可6件，修正依頼3件，一旦返却1件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，2件のReport，2件のTechnical Features 2件のTechnical Reportを勧誘することとなった。

### 共同研究会

#### 鋼管部会

**第29回継目無鋼管分科会** 開催日：9月10～11日。出席者：望月主査，ほか52名。

開催地：住金・大坂

1. マンネスマン関係

(1) 共通議題 「圧延能率の向上について」

(2) 自由議題 「切断・面取技術について」

(3) 工場操業状況報告

2. 熱間押出関係

(1) 共通議題 「熱押し工場の自動化について」

(2) 自由議題 「品質に及ぼす押出条件について」

(3) 工場操業状況報告

**第29回溶接鋼管分科会** 開催日：9月3～4日。出席者：河野主査，ほか71名。

開催地：学士会館（神田）

1. 電弧溶接管関係

(1) 成形・溶接について（スパイラル）

(a) スパイラル製管自動測長測定装置を用いた周長制御システムの開発

(b) スパイラル鋼管外周長精度に影響を及ぼす要因の研究と外周長制御法の開発

(c) 鋼管抗・矢板加工での形状変化について

(d) スパイラル鋼管の強度管理

2. UOEに関連する要員について（受注から出荷まで）（ストレートシーム）

(3) 工場操業状況について

2. 電縫・鍛接管関係

(1) フォーミング・サイジングロールについて（電縫管）

(2) 鍛接管不良と歩留り向上について（鍛接管）

(3) 工場操業状況について

### 鉄鋼分析部会

**第65回鋼中非金属介在物分析分科会** 開催日：8月7日。出席者：成田主査，ほか16名。

開催地：神鋼・神戸

1. 鋼中硫化物の抽出分離定量法に関する研究

(1) 第6回共同実験結果（Fe-Ti-S, Fe-Zr-S 系試料）

(2) 第7回共同実験方案の作成（Fe-Ca-S 系試料）

2. その他

### 標準化委員会

#### 整合性調査特別委員会

**第1回鋼管調査分科会** 開催日：8月24日。出席者：丸岡主査，ほか8名。

1. JIS に対応する ISO と各社分担

2. 体系調査

3. 分科会構成について

**第1回鋼質試験調査分科会** 開催日：7月31日。出席者：石川主査，ほか13名。

1. 当分科会の業務予定

(1) 今年度の整合性調査規格 (2) JIS 改正案の作成 (3) 報告書作成について (4) 調査内容

2. 調査結果の取り扱いについて

**第1回機械試験調査分科会** 開催日：8月21日。出席者：埜主査，ほか12名。

1. 委託概要の説明

2. 調査活動の基本方針

3. JIS に対応する ISO 規格の選定

4. 今後のスケジュールについて

### ISO 鉄鋼部会

**第17回 SC2 分科会** 開催日：9月2日。出席者：水野主査，ほか9名。

1. 鋼に対する用語集（DP 4949）

2. Letter Symbol による鋼の名称（DP 4949）

3. 鋼製品の形状，寸法の審議（DP 6929）

4. 1983 年東京会議について

### データシート部会

**第11回破壊靱性データシート分科会** 開催日：8月25日。出席者：金沢主査，ほか9名。

1. データ処理及びデータシートのまとめ

(1) Vノッチシャルビー試験

- (2) 二重引張試験
- (3) Deep ノッチ試験
- (4) COD 曲げ試験
- (5) N R L 荷重試験
- (6) 各種破壊靱性の相関について

### 高温強度研究委員会

**第 17 回高温熱疲労試験分科会** 開催日：9月11日。  
出席者：雄賀主査，ほか 22 名

Alloy 800 に関する文献調査は，項目別に取りまとめの段階に入り，前回に引続いて項目別担当委員からその取りまとめ結果の発表が行われ，次の議題で審議検討が行われた。

1. 項目別データの取りまとめ結果について
2. Alloy 800 国産材の高温引張り，クリープ破断及びクリープデータについて（講演）（金材技研）
3. Incoloy 800 の製造条件と諸性質（講演）（新日鉄基礎研）
4. 文献調査結果の検討について
  - (1) 疲労破壊 (2) クリープ破断
 ついで，これら項目別取りまとめ結果の原稿の原紙を集め，編集作業に入ることとなり今回の取りまとめ委員の中から6名の編集委員を選任し再度作業をお願いすることとなった。

### 国際鉄鋼技術委員会

**第 1 回委員会** 開催日：8月14日。出席者：石原委員長，ほか 10 名。

1. 第 13 回 IISI 技術委員会報告
- 3月9日メルボルンで開催された IIST TECHCO について石原委員長より報告があつた。

2. 次回はトロントで総会があり技術委員会から3編報告予定。

### 試験高炉委員会

**第 25 回委員会** 開催日：8月6日。出席者：石川委員長，ほか 15 名。

1. 委員長の交替  
 研野委員長より石川委員長へ交替があつた。
2. 第 29 次操業中間報告  
 東大・館氏より説明があり，今後のピッチコークス操業が一部変更となつた。
3. 高炉見学  
 東大試験高炉の操業及びその付帯設備の見学が行われた。

### 鉄鋼 2 次製品生産設備調査委員会

**第 1 回委員会** 開催日：8月31日。出席者：田畑委員長，ほか 33 名。

調査委員会委員 16 名，団体事務局代表 11 名，幹事 7 名，合計 34 名が出席して次の議事次第により開催された。

1. 委員長挨拶（田畑日本鉄鋼協会副会長）
2. 会長挨拶（代理 木下専務理事）
3. 運産省挨拶（角南製鉄課長代理 小島製鉄課長補佐）
4. 経過報告（矢部 亜鉛鉄板会常務理事）
5. 調査要領説明（製鉄課 讃岐係長）  
 当日配付された資料は次のとおりである
  1. 組織図，2. 調査委員会名簿，3. 同専門委員名簿，
  4. 設備調査実施予定，5. 昭和 56 年度設備調査対象工場数，6. 調査表（総括票），7. 説明会日程表